



名古屋市の考える 大都市制度

平成24年11月15日
名古屋市



尾張という大きな圏域

清州越し（1610年）

- 徳川家康が名古屋城を築城
- 織田信長が繁栄させた清州の城下町を名古屋城周辺に移設

尾張藩の存在

- 徳川御三家の筆頭格
- 尾張一国に加え、美濃、三河及び信濃（木曾の山林）の各一部に及ぶ大きな圏域を統治

地理的な特徴

- 木曾三川の恩恵
(濃尾平野の形成、水資源の供給、物流の促進)
- 西は養老山地、東は東部丘陵、南は伊勢湾に囲まれる。

江戸時代の古地図



広大な圏域が名古屋を中心に、お互いにつながりを持って発展

都市連携の可能性①

自立性の高い市町村の存在

- 県内の市町村は、他地域と比べ、**安定的な行政経営**を行っており、**自主・自立的な発展**をしてきた。

【財政力指数(平成24年度単年度)(旧5大市)】

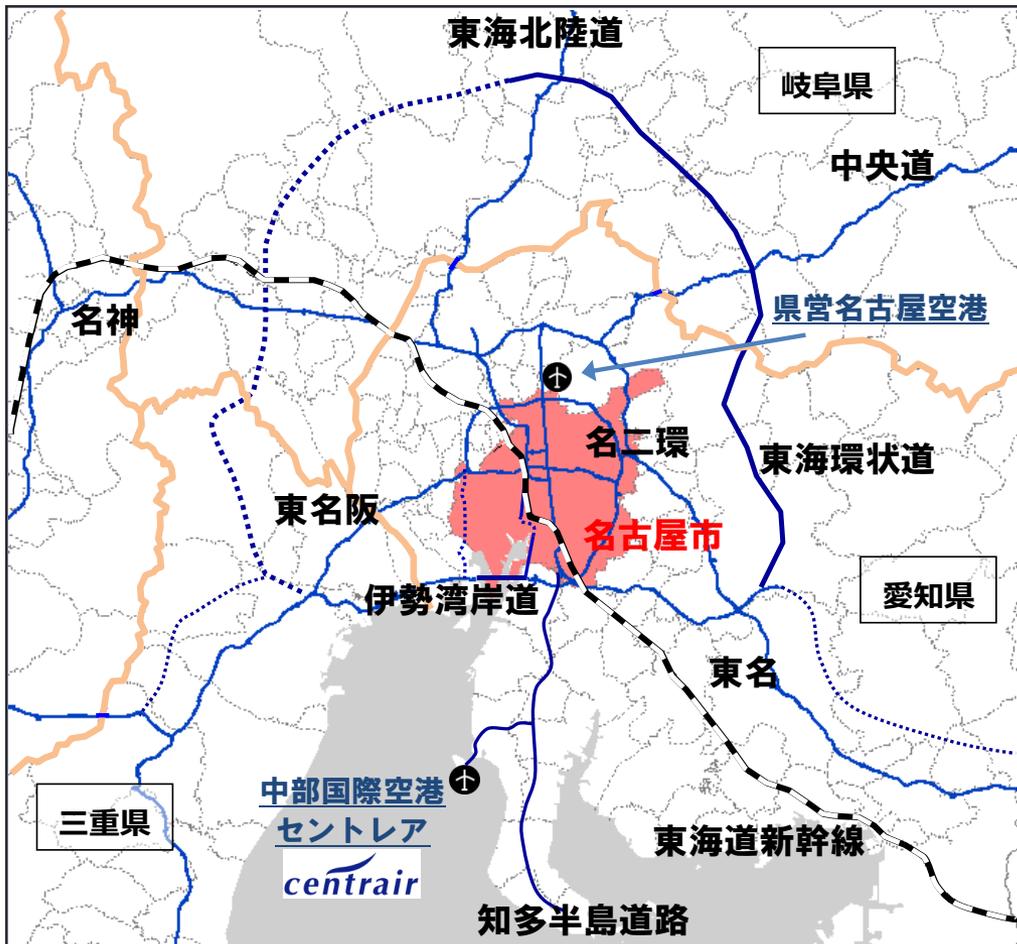
神奈川県		愛知県		京都府		大阪府		兵庫県	
横浜市	横浜市以外	名古屋市	名古屋市以外	京都市	京都市以外	大阪市	大阪市以外	神戸市	神戸市以外
0.96	0.93	0.98	0.94	0.76	0.59	0.90	0.75	0.76	0.70

※第30次地方制度調査会資料より

都市連携の可能性②

道路・鉄道網等の交通インフラの整備

- 名古屋を**結節点**とした**交通インフラが充実**していくとともに、**自治体の範囲を超えた広域な都市圏が形成**



都市圏の玄関口
である名古屋駅



海外からの
玄関口である
中部国際空港



都市の産業を
支える名古屋港
取扱貨物量・貿易額No.1



都市連携の可能性③

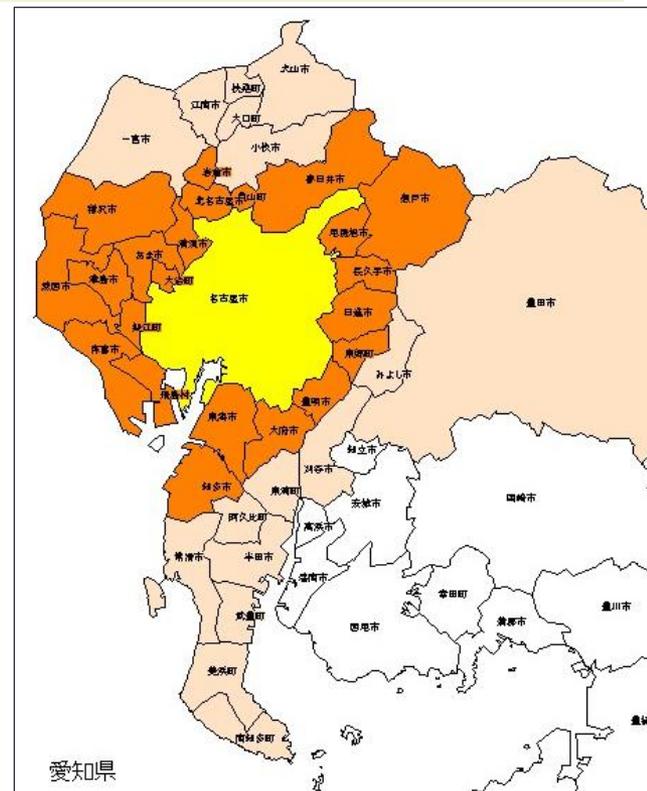
近隣市町村との密接な関係

- 通勤・通学などによる近隣市町村から本市への流入人口は、約40万人と非常に多く、**一体的な都市のまとまりを形成**
- 本市は、**圏域内の唯一の大都市**であり、他の都市に比べ、**圏域の発展を牽引する役割が強く期待される。**

名古屋市と近隣市町村

区分	名古屋市への流入が人口の20%以上の市町村	名古屋市近隣市町村懇談会の参加市町村
人口	3,958,350人	5,774,831人

※平成22年国勢調査より



都市連携の事例

【外国の事例】

マンチェスター（イギリス）

- 都市の連携により、都市圏域を構成

トロント（カナダ）

- 都市連携から合併に発展、更には広域自治体からの独立

【国内の事例】

三遠南信地域連携（愛知県東三河・静岡県遠州・長野県南信州）

- 2016年度を目途に広域連合の組織化を目指す

都市連携のベースは・・・

歴史的なつながりと生活文化圏

都市連携を考えるうえでの新たな要素

リニア中央新幹線の開通（2027年）

- リニアインパクトに向けた対応
- ストロー現象への危機感

リニア中央新幹線で
東京-名古屋間が
約100分が40分に短縮

巨大地震への備え

- 自治体間を越えた広域的な協力体制の構築
- 広域防災拠点の整備

アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区の指定

- 航空宇宙産業の日本最大の集積地
- 関連企業が新規立地・設備投資しやすい環境の整備



名古屋市の考える大都市制度のあり方（まとめ）

より強い権限と財源を有し、
自主・自立した基礎自治体である
特別自治市への制度移行



広域的な課題を解決に向けた
近隣市町村との**水平連携**
の強化

いわゆる・・・

広域連携型特別自治市

本市は、圏域の水平連携の核となる**名古屋特別自治市**となり、**他都市との広域的な連携**による地域の特性を生かした**独自の圏域を創出**することにより、名古屋を中心とした都市圏の発展を**けん引する役割**を果していく。

都市魅力の向上

復元工事進行中!

おもしろえなゴヤ
大作戦展開中!

東山動植物園



来秋アジアソウ舎オープン

名古屋市科学館



世界最大のフラネタリウム

リニア・鉄道館



超伝導リニアを展示

2013年5月29日
玄関・表書院公開

名古屋城本丸御殿



2018年完成予定



名古屋
おもてなし武将隊

